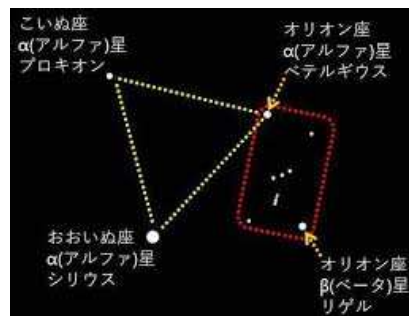


## 「見上げてごらん 夜の星を」

これは昭和の歌手・坂本九の有名な歌のタイトルの曲。

読書や勉強の息抜きに、時々夜空を眺めてみませんか。晩秋から初冬にかけては空気が澄み、星や月が他の季節よりもきれいに見えます。今月末には南東の空に冬の大きな三角や冬の星座の代表格オリオン座などがぼちぼち現れてきます。宇宙や星のこともっともっと知りたくなったら、宇宙の図鑑や星座の本などで調べてみてくださいね。



## 鈴青祭文化の部「ビブリオバトル」開催報告

図書委員会顧問 鹿島千尋先生

ビブリオバトルとは…

biblio- (本の意の接頭語) + battle (戦い) 参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催し。



[補説] 平成19年(2007)谷口忠大によって考案され、京都大学で行われたのが始まり(『デジタル大辞林』による)とあります。



前期図書委員会では、図書館の利用数が増加するための取り組みは何か—ということの一つとして、この企画に取り組みしてみました。委員長の5年桐生さん「とても苦戦しました。なにぶん初めての試みだったので、告知の時期が遅くなったり、その影響で募集締め切りぎりぎりまでほとんど人数が集まらなかったりと、

周りの方々にたくさん迷惑をおかけしたと思います。こうして無事に開催でき、さらに予想を上回る成功を遂げたことは、奇跡としか考えられません。来年以降も、この企画が続いていくよう、私たちも尽力します。

当日、委員長さん司会のもとに進められましたが、各自お気に入りの本について紹介していく語りに、つい引き込まれました。よく準備もしていたので、表面的でなくハートまで届く言葉で語り、質疑になっても、普段からものを考えている人たちだからでしょうか、核心に迫る質問がばんばんなされ、またそれへの応答もすばらしかったです。鈴中には個性豊かな人たちが多いですが、本と深く関わる生徒もいると確信できました。



何事も、今までにないものを作っていくというのは大変なものです。でも、そうやって1期生からこの鈴青祭は先輩達が作ってきたんですよ。

## 新着図書ピックアップ

『転生! 太宰治 転生して、すみません』

佐藤 友哉【著】篠月 しのぶ【イラスト】



太宰治—自分なんか大嫌い、だけどそんな自分が愛おしい。友だちとか恋人とかだったら、まあめんどくさいタイプ。でも、そんな「嫌いだけど好き」という気持ちは誰にでも多かれ少なかれ持っているから、太宰治の作品は読み続けられるのだと思います。

閑話休題。ラノベに「転生」というジャンルがありますよね。これはラノベじゃないんだけど文字どおり「太宰治が2017年の東京に転生したら」って話です。カプセルホテルを満喫したり、ラノベを読んだり、メイドカフェで踊ったり。書店で自分の本を見つけたり、芥川賞の授賞式に闖入してつまみ出されたり、講談社に乗り込んだり。それが見事な太宰治の文体模写で描かれていて笑えます。夏目、芥川、三島…つい姉妹編を期待してしまいます。(内田)

『旅する画家 藤田嗣治』

林 洋子【監修】

今年没後50年画家・藤田嗣治。おかつば頭の、丸眼鏡。彼が過ごした場所は東京、パリ、中南米、東アジア、NY、日本(東北から沖縄まで)、パリ郊外。本書は10の場所×時代という目次で構成され、油彩、水彩など約80点を収載しています。藤田(1886-1968)は柔らかで温か味のある「乳白色の裸婦像」や生々しい「戦争画」で知られています。彼は息つく暇なく、多様な地で、多文化を吸収しながら生涯、絵を描き続けました。「戦争画」は戦時下、経費を買われ、軍部が藤田へ依頼したものでした。戦後は、戦犯批判され、フランスへ渡り、日本と決別したかのように思われましたが、最近彼の肉声テープが発見され、日本への思慕の情が明かされました。同じ監修者でEMC所蔵『藤田嗣治画集』全3巻もあるので合わせて開いてみてください。(黒川)



『リアルサイズ古生物図鑑 古生代編』

土屋 健【著】群馬県立自然史博物館【監修】



わけあって絶滅した古生物。多くの図鑑で紹介され、その姿かたちの奇抜さには興味をひかれるところですが、いまいちよくわからないのがその実際の「大きさ」ではないでしょうか。

動物園にはいない彼らを、現代の身近な風景の中に登場させて、その大きさをリアルに感じ取れるように工夫してあるのが、この「リアルサイズ古生物図鑑」。目を引くのはそのユーモラスな登場のしかた。テニスの試合中の選手のラケットが「ドレパナスピス」、横断歩道をわたる「アースロプレウラ」、寿司ネタ「ネクトカリス」、湯船でくつろぐ「ディプロカウルス」…思わず笑ってしまいます。こんな大きさだったのね、と実感できますし、その可愛いさに癒されます。説明文も軽やかで面白いです。(大塚)

新着ピックアップは毎月、司書3人がこれはぜひ読んで!と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

本を読み始めた図書館員・藤崎一臣の

本、読んでいこう！ vol.15

『億男』 川村元気【著】



先月の19日（金）より、この『億男』の映画が公開されています。

徐々に映画を観に行こうと思います。本なんか読まずに、映画を観に行けば本を読む必要ないでしょ？って思っているずっとどこっこい居ませんか？ 映画は決められた時間内に作品を収める必要があるため、どうしても原作の内容が編集されてしまうんですね。おおお！ここ、繋がるのね！といった感動は映画より本の方が数十倍感じることができます。また、自分が映画監督になった気分で、主人公は俳優の〇〇で、この人は女優の〇〇がいいなと考える楽しみもあります。ちなみに、今回私が想像していたキャストと本当の映画のキャストでドンピシャだった人が1人いました。ちょっとテンション上がりました。

さて『億男』について、主人公（一男）は、弟の借金3000万円を肩代わりするために休みなく働き続ける毎日。妻子もいたのですが、この借金が問題で別居することになってしまいます。そんな中、商店街のくじ引きで当たった宝くじが1等3億円当選し、突如億万長者となるのです。私も先日、同じような場面がありました。残念ながら当選とはなりませんでした…。

「お金」が怖くなった主人公は、3億円全額をスーツケースに入れ、「お金と幸せの答え」を求めため大学時代の唯一の友人であり親友の大富豪となった九十九（「つくも」と読みます）のもとを十数年ぶりに訪れます。（こいつアホか…私の率直な感想）

さっさと、借金を返済し妻子を迎えに行けばそこでハッピーエンドなんです。ここがフィクション作品の面白いところでもあります。

その後、九十九が主人公の3億円を持ち失踪…。（ほら見ろ…）

なぜ大富豪の九十九が彼にとって、はした金である3億円程度のお金を持ち失踪したのか？ そして、主人公は3億円を、そして家族を取り戻すことができたのか？「お金と幸せの答え」とは？



### 第12回 島田佑一先生おすすめの『日本の没落』

『日本の没落』は、思想家シュペングラーの名著『西洋の没落』を手引きにしつつ欧米の実情を的確に分析し、その帰結として「先進国日本」の終焉を明確に指摘する。途方もない絶望の中で、中野は学問人として先達の著作を（通説的解釈を嚙呑みにせず）自ら読み解釈し直すことで、彼らの苦悩を読み取り、その苦闘の痕跡の中に我々にとっての光明を見出そうとする。その詳細については本著を当たってもらうことにして、ここではその準備として、前著『経済と国民』において中野が言及した、マキャベリの教訓を紹介しよう——「人間は運命（fortuna；気まぐれな女神として神格化される）のままに身をまかせていくことはできても、これには逆らえない」。しかし、「力量（virtu）」は往々にして幸運（fortuna）を引き寄せ得る。したがって「なにも諦めることはない」。いつどんな幸運が現れるのかわからないのだから、fortunaを振り向かせるよう力（virtu）を磨き、「どんな運命にみまわれても、またどんな苦境に追い込まれても投げやりになってはならないのである。」

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？

## 今月の本棚 Books ourshelves

## 今夜はおまえを眠らせないぜ！



### ☆「今夜はおまえを眠らせないぜ！」（2階・メイン展示コーナー）



今月の本棚は「面白くて眠れなくなる〇〇」というタイトルの本を集めて展示しています。テーマは物理や数学をはじめ、植物学、人体、宇宙、経済、など様々。物理や数学など、理系はちょっと苦手という人も大丈夫！例えば「数学」では「おつりを簡単に計算するテクニック」や「皆既日食と円周率の関係」といったような暮らしの中のちょっとしたはてな？を取り上げて、わかりやすく解説してあります。

『ますます眠れなくなる宇宙のはなし』では天動説から地動説へ変わる宇宙観、ビッグバン誕生の20世紀の宇宙観、人類のような知的生命が存在するか否か。たぶん夜がなかったら考えないであろう宇宙に想いを馳せることができます。その他『眠れないほど面白い都市伝説』や『〜心理テスト』など、ついつい夢中になって時間を忘れそうです。考えてみれば眠れなくなるほど一心不乱に本を読めるというのは、なかなか素敵なことですね。

### ☆「眠りにまつわるエトセトラ」（2階・メイン展示コーナー）

とはいっても睡眠はとても大事。人生の3分の1は眠りです。平台の奥の台では昼寝から不眠・仮眠・過眠・熟睡・眠りに関する本を大特集。『4時間半熟睡法』『合格を勝ち取る睡眠法』（→ほんとかな）『脳が突然やえだす「瞬間」仮眠』などなど。

子どもの絵本の超定番『ねないこだれだ』は読んだことがある人も多いのでは？『ねないこはわたし』は、この有名な絵本が生まれた背景を書いた自伝本。おうちの方がどうやって幼かったみなさんを寝かせてたか聞いてみてね。



### ☆たくさん読んでくれてありがとう！貸出ベストランキング（3階・書架コーナー）

- |                |       |           |
|----------------|-------|-----------|
| 1位『きみの臓腑が食べたい』 | 住野よる  | ※貸出回数 11回 |
| 2位『君たちはどう生きるか』 | 吉野源三郎 | 9回        |
| 3位『かがみの孤城』     | 辻村深月  | 7回        |

住野よる強し！『きみたち〜』は男子に、『かがみ〜』は女子に人気かな。10位まで展示中です。

### 図書館からのお知らせ

- 2019年赤本（最新版）が続々と入ってきています！EMCにない赤本をお探しの場合はカウンターに尋ねるか、6年制進路指導室（2号館3階）で確認してみてください。
- SPIの本が入りました。就職試験対策にこちらもぜひご活用下さい。

編集後記 カウンターは毎日、にぎわっています。個性豊かな生徒さんたちが続々と押し寄せ、色々な才能をぶつけてくださり、司書も想像力を養われます。頼もしいです。（黒川）

